



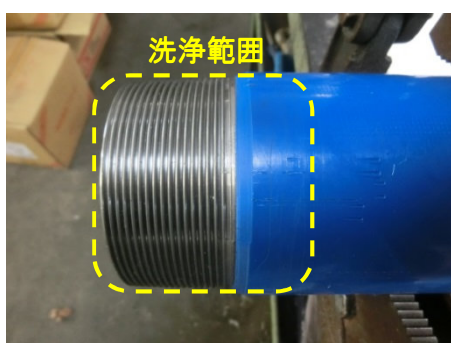
コマ印管継手

ねじ込み式管端防食継手・外面被覆付（RCF-MK） ゴムリングの装着の手順および注意事項

株式会社 **リケン**

1. 管の洗浄

ねじ部および管内の切削油・切り粉・異物などをウエスや洗浄剤（パーツクリーナー）などを用いてねじ部を洗浄します。



ねじ部の洗浄範囲



ねじ部の洗浄

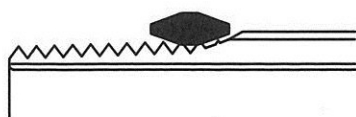
管のねじ切り後、ねじ切り油が付いた状態でねじ込んでしまうと、ねじ込み時にゴムリングが滑り、ゴムリングが継手の外に押し出されてしまうことがあります。また、シール剤とねじ切り油が混ざり、本来のシール性能、防食性能が発揮できません。脱脂洗浄を忘れずに行ってください。

管の表面に付着したねじ切り油も洗浄してください。ゴムリングを管に装着する際に、ゴムリングに油分が付着しますと、ねじ込み時にゴムリングが滑りゴムリングが押し出されてしまうことがあります。

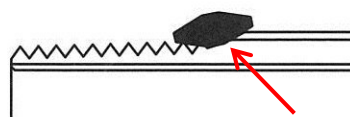
2. ゴムリングの装着

ゴムリングを下図のように装着します。

○良い例



×悪い例



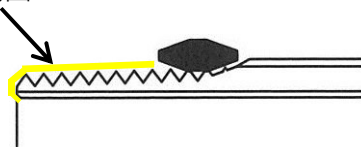
ねじの切り上り部に
乗り上げないこと

ゴムリングをねじの切り上り部に乗り上げた位置に装着しますと、ねじ込み時にゴムリングが押し出されてしまうことがあります。装着位置に注意してください。

3. シール剤の塗布

防食シール剤を管のねじ部および面取部を含む管端面に塗布します。

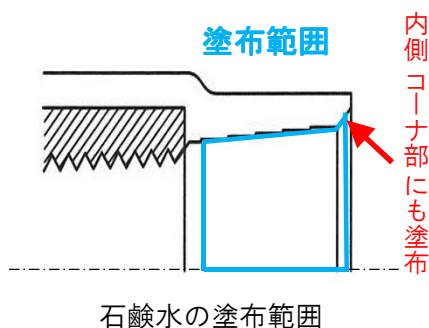
シール剤の塗布範囲



ゴムリング装着面にシール剤を塗布しないようにしてください。ゴムリングにシール剤が付着すると、ねじ込み時にゴムリングが押し出されてしまうことがあります。

4. 継手受け口への石鹼水塗布

ゴムリングがスムーズに継手受け口に入るように、継手受け口全周に石鹼水（中性洗剤を2倍程度に薄めたもの）を塗布します。



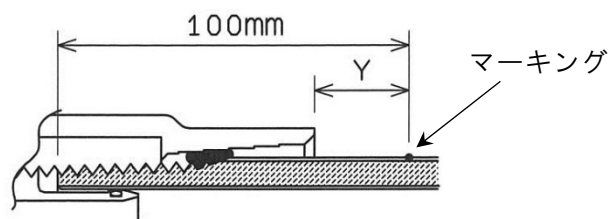
石鹼水塗布要領

- ・濃度の薄い石鹼水を使用しますと、滑りが悪くゴムリングが押し出されてしまうことがあります。
- ・石鹼水を多量に塗布すると、ゴムリングと管接地面に石鹼水が付着し、ゴムリングが滑って押し出されてしまうことがあります。タレ出さない程度に薄く延ばすように石鹼水を塗布してください。

5. ねじ込み

被覆管用のパイプレンチを用いてねじ込みます。

外面被覆継手の場合、管の残りねじ部が見えないため、そのままねじ込みますと、ねじ込み量が確認できません。そこで、図のようにねじ込む前に管端部から100mmの位置にマーキングし、ねじ込み後のY寸法にてねじ込み量を確認します。



呼び	標準ねじ込み量		Y寸法(mm)
	山数(山)	長さ(mm)	
1/2	5.5	10.0	70
3/4	6.0	10.9	69
1	5.5	12.7	63
1 1/4	6.5	15.0	61
1 1/2	6.5	15.0	61
2	8.5	19.7	55
2 1/2	9.5	22.0	52
3	10.5	24.3	49
4	13.0	30.0	42
5	15.0	34.5	35

- ・ねじ込み過ぎると継手に内蔵された樹脂コアを破損する恐れがありますので注意してください。
- ・配管の角度を調整するためのねじ戻しは避けてください。やむを得ない場合は45°以内にしてください。